

《相川支所》活動内容

●相川地区の概要

相川地区は、大佐渡山地の西側に位置し、前面を日本海にのぞみ、大佐渡山地の稜線を境に佐和田、金井、両津地区と接している。年間を通じて対馬暖流の影響を受け、海洋性の比較的温暖な気候である。冬季は暖流の影響で降雪量は少ないが、北西の季節風が強い地域である。

相川地区には金銀山の歴史及び伝統を反映した人々の生活と、その営みの場でもあった歴史的な建造物や周辺の景観が一体となった鉱山町が形成されている。

佐渡金銀山は、江戸時代から1989年の操業停止まで、国内最大の金銀山として78tの金と2,330tの銀を産出した。江戸時代には徳川幕府の管理下で、採掘から小判製造に至る一連の作業が行われた。また、明治維新以降は、官営「佐渡鉱山」として西洋から最新の鉱山技術が導入され、日本の近代化に大きく貢献した。2010年には世界遺産暫定リストに記載され、現在は江戸時代の伝統的手工業と金生産システムを示す稀有な産業遺産として世界遺産登録を目指している。



道遊の割戸



佐渡金山桜並木 ライトアップ



北沢浮遊選鉱場跡 ライトアップ

●現状と課題

佐渡市では、平成16年3月の市町村合併以降、人口は毎年約1千人ずつ減少するとともに、国や県よりも先行して高齢化が進行している。

相川地区においても、同様に人口減少や高齢化が進行し、産業や医療、福祉など様々な分野において人材が不足し、経済の衰退やサービスの縮小が懸念される。また、地域においては、伝統行事や集落活動の縮小など地域コミュニティの衰退が見込まれるが、特に過疎化が進む地域では暮らし続けるための生活基盤の維持が困難になると予想される。

●地域の将来像

- ・ 金山とともに育まれた歴史・文化を活かすまち
- ・ 風光明媚な自然の中でゆったりと暮らせるまち
- ・ 地域の支え合いと安全・安心なまち

●協力隊に求める活動内容

- ・相川地区における島留学の導入に係る調査・研究等について
島留学の導入について、関係機関と連携して導入可能性の調査・研究を行う。導入の可能性が高い場合は、島外からの留学生を受け入れるための体制づくりや島留学生の募集等に取り組む。
- ・相川地区の郷土料理の普及・啓発について
平成 28 年 3 月 31 日に本市が発行した「四季折々・郷土の味 さどごはん ～昔の良さを今へ～」などを活用し、各地域で受け継がれている郷土料理の普及・啓発に取り組む。
- ・その他、地域おこしに資する活動

●主な年間活動計画

1 年目	<ul style="list-style-type: none">・地域の現状把握・島留学の導入に係る調査・研究等・郷土料理の普及・啓発・その他、地域おこしに資する活動
2 年目	<ul style="list-style-type: none">・島留学の導入に係る調査・研究等・郷土料理の普及・啓発・その他、地域おこしに資する活動
3 年目	<ul style="list-style-type: none">・島留学の導入に係る調査・研究等・郷土料理の普及・啓発・その他、地域おこしに資する活動・退任後も活動を維持できる体制づくり・自身の退任後の生活設計の準備等

●地域の連携体制

- ・佐渡市役所相川支所を拠点として業務を行う。(事務席を用意)
- ・活動については、市職員、地域相談員及び地域の代表者と協議して進める。
- ・住居は、近隣の空家等を紹介し、隊員自身が選定する。
- ・報酬及び福利厚生等は、佐渡市「地域おこし協力隊」募集要項【会計年度任用職員】の該当欄を参照

●退任後の展望

- ・退任後、継続して佐渡市内に居住する場合は、行政（新潟県・佐渡市等）の各種支援事業（起業・就職・住居・子育て等）を紹介

●その他（生活環境など）

- ・業務担当 佐渡市相川支所 地域支援係（佐渡市相川栄町 27 番地）

・ 相川支所周辺の生活環境

- ①ガソリンスタンド：支所周辺に2カ所
- ②商店街：支所から徒歩圏内に有 <羽田商店街、天領通り商店街>
- ③コンビニエンスストア：支所から徒歩7分 <ローソン佐渡相川店>
- ④ドラッグストア：支所から徒歩2分 <ウエルシア佐渡相川店>
- ⑤郵便局：支所から徒歩1分 <相川郵便局>
- ⑥警察署：支所から徒歩1分 <佐渡警察署相川交番>
- ⑦病 院：支所から徒歩8分 <市立相川診療所>
- ⑧保育園：支所から車で4分 <市立あいかわこども園>
- ⑨小学校：支所から車で2分 <市立相川小学校>
- ⑩中学校：支所から車で5分 <市立相川中学校>

●相川支所および周辺の参考写真



相川支所庁舎



佐渡奉行所跡



レンガ堀・時鐘楼



宵乃舞～京町音頭流し～



尖閣湾



ナイトSUP